

光が丘第一小学校・光が丘第二小学校 統合準備会(第7回) 要点記録

開催日時	平成21年2月19日(木)午後6時~午後7時50分	
会場	光が丘第二小学校 図書室	
出席者	委員	細谷勝、齋藤栄子、野村隆久、佐藤洋、岡本由佳、庄司幸、菅野幸子、谷口深雪、鶴岡まみ、川澄吉広、石井秀夫、上倉れい子、本橋和三、高瀬欣一、沢辺寅造、三澤ちづ子、岡子祐子、松本智子(敬称略)
	その他	学校教育部長
	事務局	新しい学校づくり担当課
傍聴者	1人	
案件	1 統合新校の校名の選定について 2 その他	

1 統合新校の校名の選定について

〔統合新校の校名募集の結果について、事務局から説明〕

【概要】

(1) 募集期間

平成21年1月8日(木)~1月30日(金)

(2) 応募件数等

光が丘第一小学校と光が丘第二小学校の統合新校

- ・ 応募件数(延べ) 369件〔内訳 児童 298件、保護者 45件、地域 26件〕
- ・ 校名件数(実件数) 177件

光が丘第三小学校と光が丘第四小学校の統合新校

- ・ 応募件数(延べ) 388件〔内訳 児童 293件、保護者 57件、地域 38件〕
- ・ 校名件数(実件数) 169件

光が丘第五小学校と光が丘第六小学校の統合新校

- ・ 応募件数(延べ) 339件〔内訳 児童 261件、保護者 52件、地域 26件〕
- ・ 校名件数(実件数) 163件

光が丘第七小学校と田柄第三小学校の統合新校

- ・ 応募件数(延べ) 157件〔内訳 児童 99件、保護者 27件、地域 31件〕
- ・ 校名件数(実件数) 98件

(3) 校名案

〔4つの統合新校の校名の募集結果を報告。詳細は、新しい学校づくり担当課ホームページ上の「統合新校の校名を募集しました」を参照〕

ホームページアドレス <http://www.city.nerima.tokyo.jp/gakkou/atarasi/koumei.html>

(4) 校名案の傾向

光が丘第一小学校と光が丘第二小学校の統合新校

「光が丘」もしくは「光」の言葉が含まれているものが最も多く6割。次に公園名の「四季の香」。次に方角の「西」。なお、「北」とする校名案もあった。

光が丘第三小学校と光が丘第四小学校の統合新校

「光が丘」もしくは「光」の言葉が含まれているものが最も多く5割。次に公園名の「春の風」または「春風」が3割弱。次に方角の「南」が1割強。

光が丘第五小学校と光が丘第六小学校の統合新校

「光が丘」もしくは「光」の言葉が含まれているものが最も多く5割。次に公園名の「夏の雲」が1割。なお、方角は非常に少なかった。

光が丘第七小学校と田柄第三小学校の統合新校

「光が丘」もしくは「光」の言葉が含まれているものが最も多く3割。次に「田柄」の言葉が含まれているものが2割。次に公園名の「秋の陽」が2割弱。

〔校名選定にあたっての基本的な考え方について、事務局から説明〕

【概要】

- ・応募件数の多寡は参考にするが、それで決定するものではない。
- ・統合対象校のどちらか一方の名称をそのまま使用しない。
- ・現在、練馬区立小学校で使用している名称は使わない。
- ・3回の検討の中で校名候補を徐々に絞り込み、最終的には校名候補を1つに決定する。

事務局

統合新校の校名候補については、今回を含めて3回の協議で統合準備会の意見を取りまとめでいただき、それを教育委員会へ報告していきたいと考えている。遅くとも3月末までには決めていただきたい。

副会長

校名選定にあたっての基本的な考え方について意見はあるか、なければこの考え方をもとに校名選定の協議を進めていきたい。募集の結果を見て、一人ずつ意見ををお願いしたい。

委員

「光が丘」がつく校名が多い。それだけ、光が丘に愛着がある証拠ではないか。

委員

統合新校となる4校では、学校によって方角の捉え方が異なる。方角を表す校名をつけるならば、調整が必要である。

委員

4校とも、公園にちなんだ校名が多い。

委員

光が丘地区の学校なので、「光が丘」がつく校名が多い。

委員

4校で類似の校名が多いので、一つに絞っていくのは大変だ。

委員

募集結果には、現在区内で使用されている校名と同じものも掲載されている。どう取り扱うのか。

事務局

応募のあった校名はすべて掲載したためだ。統合新校で使用するかどうかについては、統合準備会で判断していただきたい。

委員

公園名や東西南北など、4校の関連性を意識して応募した方の意見も尊重して選んでいきたい。

委員

同じ地区に4校できるので、公園名や東西南北など、わかりやすい校名が多く応募されているようだ。

委員

「光が丘」が最も多かった。光が丘第一小学校が光が丘で最初にできた学校と意識している方が多いからではないか。

委員

校名は聞いただけで正しく書け、なるべく短く、誰にでも読めることが大事である。「光が丘」は地域を表し、すべての条件を満たしている。

委員

個人的な好みとなるが、両校に隣接している四季の香公園にちなんだ校名がよい。

委員

このあたりの昔の地名「大門山」が掲載されていたのには驚いた。まず、4校で共通性を持たせるか、各統合準備会で独自に決めていくかを、連絡会で決めたほうがよいと思う。「光が丘」がつく校名が多いので、やはり「光が丘」はつけたほうがよい。

委員

連絡会では、各統合準備会で独自に校名候補を決めていくという結論となったが、校名が重複することもあるので、相互の調整が必要である。その調整は、いつ、どのように行うのか。

事務局

他の統合準備会の協議状況を報告する。事務局が相互の調整を行っていききたい。

委員

文書で協議状況を報告するということか。事務局から資料が送られてくる時期が遅いし、期間が短いなかで校名を選定できるか心配だ。

事務局

資料はなるべく早く送付する。

委員

光が丘第一小学校は、光が丘で最初にできた学校なので、「光が丘」の校名は残したい。

副会長

校名の絞り込み方法についての意見はあるか。

委員

募集結果の中から、統合新校の校名にふさわしくないものを削除して絞り込んでいけばいいのではないか。

委員

各委員が統合新校の校名にふさわしいものを3~5校選んでみてはどうか。

事務局

すでに2つの統合準備会が終了した。そこでも、校名としてふさわしくないものを削除していくべきだという意見もあった。しかし、児童が一生懸命考えた校名を削除していくのはいかななものかという意見もあり、2つの準備会とも、各委員が新校の校名にふさわしいと思うものを次回までに選び、その結果をもとに協議を進めていくこととなった。

委員

確かに、児童が一生懸命考えた校名を削除していくのはよくない。

委員

4校の関連性を意識して校名を応募した方もいるのであれば、各統合準備会で校名を絞り込んだ結果、公園名や東西南北が残ったら、連絡会を開催してみてもどうか。

事務局

校名の決定権が連絡会にない限り、そこで意見を調整することは困難である。まずは各統合準備会で協議し、他の準備会には協議状況の報告を行い、事務局で調整したいと考えている。

副会長

校名の絞り込み方法としては、各委員で新校の校名にふさわしいと思うものを選んでいくということで確認したい。「光が丘」がつく校名から選ぶ等、何か条件を設けるか。

委員

統合新校の通学区域は光が丘だけではない。光が丘第一小学校の住所は高松である。初めから「光が丘」をつけることを前提に絞り込むべきではない。

委員

両校とも光が丘の歴史と伝統があるので、「光が丘」がつく校名で絞っていくべきである。「光が丘」がつくシンプルな校名がいい。募集結果をみても、「光が丘」がつく校名が多い。

委員

私も「光が丘」がつく校名を選びたい。

委員

初めから「光が丘」がつかない校名を削除していくと消去法と何ら変わらない。条件は付けずに、選べばいいのではないか。

委員

各委員が3~4校選んでいけば、方向性が見えてくると思う。「光が丘」のつく校名がいいという意見が多ければ、おのずとそれが校名候補になる。

委員

「光が丘」のつく校名自体を否定しているわけではない。協議の結果「光が丘」がつく校名が候補になるのであれば異論はない。

副会長

特に条件は設けずに選んでいくということで確認したい。件数はどうするか。

委員

先行の他の準備会では、委員一人あたり何校選ぶことになったのか。

事務局

すでに終了した2つの準備会では、いずれも5校以内となった。

委員

最も良いと思う校名を1つだけ選ぶ場合は、5つ違うものを選ぶのとは重みが違う。その校名に対する思いというものが計量的に出るような投票の仕方はないか。

委員

他の準備会と調和はとったほうがいい。5校以内で選んでみてはどうか。

委員

校名を順位付けして3校ずつ投票してはどうか。

委員

点数化した結果を見て、何を議論するのか。

委員

多数決ではないので、点数化するべきではない。

委員

点数化はよくない。1校しか選ばない委員は、それで仕方ないのではないか。

委員

各委員の判断で、5校以内としたらどうか。

委員

5校では多い。件数が多いければ選定作業が大変になるので、3校以内としたらどうか。

委員

各委員が投票した結果をもとに次回協議し、次々回ではどのように絞り込むのか。3回という限られた協議で1校に絞り込むためには、初めから件数を絞ったほうがいいのではないか。

事務局

今回は、今後さらにどう絞り込むかという点から協議していただきたい。たしかに一人3校にしたほうが絞りやすいが、5校のほうがより多くのアイデアを取り入れられる。また、アイデアという点であれば、今回応募のあった校名だけではなく、キーワードを組み合わせた校名

を出してもいいのではないか。

委員

同意見である。募集結果に「大門」という校名があった。「光が丘」と組み合わせ「光が丘大門」もいいと思った。ただ、公募した校名案を勝手に変えていいかが問題だ。

事務局

準備会で判断してほしい。事務局としては、公募は多くのアイデアをいただくものだと考えているので、必ずしも趣旨に反していないと思う。

委員

絞り込みの途中経過も児童に報告してほしい。児童のためにもなるべく多く残したいので5校がいい。

事務局

統合準備会だよりに募集結果を全て掲載し、お知らせする。絞り込みの途中経過を報告することは考えていない。

委員

統合準備会だよりで全て公表するなら、途中経過は必要ない。

委員

先行の準備会でも5校なので、合わせたほうがいい。

委員

私はおおむね候補を決めている。5校で構わない。

委員

3校では絞り込めないなので5校がよい。集計結果には票数は入れなくてよい。

副会長

それでは、委員1人あたり5校以内としたいがよろしいか。

- 異議なし -

副会長

投票用紙は、事務局から配ってもらえるのか。

事務局

事務局から各委員に送付するので、記入後、返送してほしい。投票結果は集計し、次回の準

備会で報告する。集計結果に件数は入れてよいか。

委員

この準備会でどれだけ支持されているのか、参考となるので件数は出してもらいたい。

委員

人数としての意味なら出してもよい。

副会長

一人の委員が同じ校名は書けないので、件数は人数の意味である。それでは件数を出すこととしたい。

- 異議なし -

事務局

応募のあった校名だけから選ぶのか、それとも、キーワードを組み合わせた校名も可とするか。

委員

応募のあった校名だけでよい。

委員

キーワードを組み合わせてよい校名があったとしても、応募のあった校名だけに限定してしまうと、残る可能性がなくなってしまう。集計結果にはそれが判別できればいいので、キーワードを組み合わせた校名も可としてほしい。

委員

よいアイデアが出てくる可能性もある。キーワードを組み合わせた校名も可としてほしい。

副会長

それでは、応募のあった校名だけではなく、キーワードを組み合わせた校名も可とすることとしたい。

- 異議なし -

2 その他

委員

両校の平成 21 年度新一年生の人数を教えてください。

会長

光が丘第一小学校は、64名の予定である。

副会長

光が丘第二小学校は、24～25名の予定である。

委員

統合新校の改修工事の設計の進捗状況はどうなっているのか。

事務局

現在設計中で、3月末までかかる。工事内容については、来年度の早い時期に、準備会に報告する。別途保護者や地域への説明会も予定している。

委員

光が丘5丁目の交差点に、歩車分離式信号を設置してほしい。

事務局

通学路の安全確保については、今後の準備会の議題なので、その時に協議する。

委員

「区立学校適正配置第一次実施計画」の策定後に発表された学習指導要領の改訂に伴い、算数の授業が増えると聞いている。教育委員会および教職員連絡会では、統合と改定とに整合性が取れているか検証したか。空き教室が少ない統合新校で、少人数授業は出来るのか。

会長

統合時18学級を想定している。ただし、超えた場合でも、多目的室や会議室もあるので、可能だ。

事務局

最新の推計でも18学級を超える見込みはない。

委員

光が丘第二小学校では、廃校や統合新校へ移ることについて、いまだに不安を訴える声がある。そもそも、統合は学校教育部、開放事業は生涯学習部、跡地活用は企画部と縦割りになっていることも原因で、全体像が見えない。不安を解消するためにも、保護者全体への説明会を開催してほしい。

事務局

責任をもって回答できるのは各所管になるが、質問等があれば、事務局までお寄せいただき

たい。

副会長

3 月中に、2 回の統合準備会の開催を予定しているので、次回と次々回の日程を決めたい。次回は 3 月 5 日（木）午後 6 時から光が丘第一小学校で、次々回は、3 月 26 日（木）午後 6 時から光が丘第二小学校で開催する。本日は、これをもって終了する。